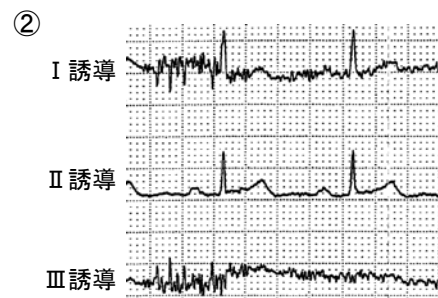
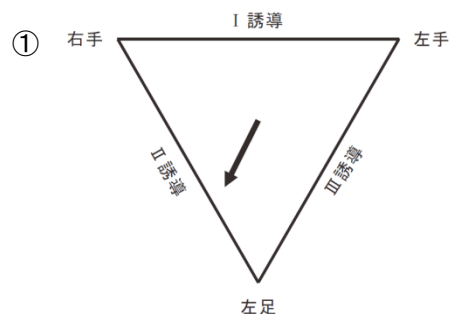
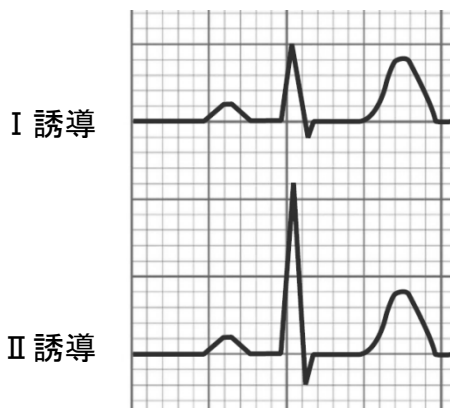


問1. 以下の文章のカッコ内に当てはまる適切な語句および数値を記入しなさい。

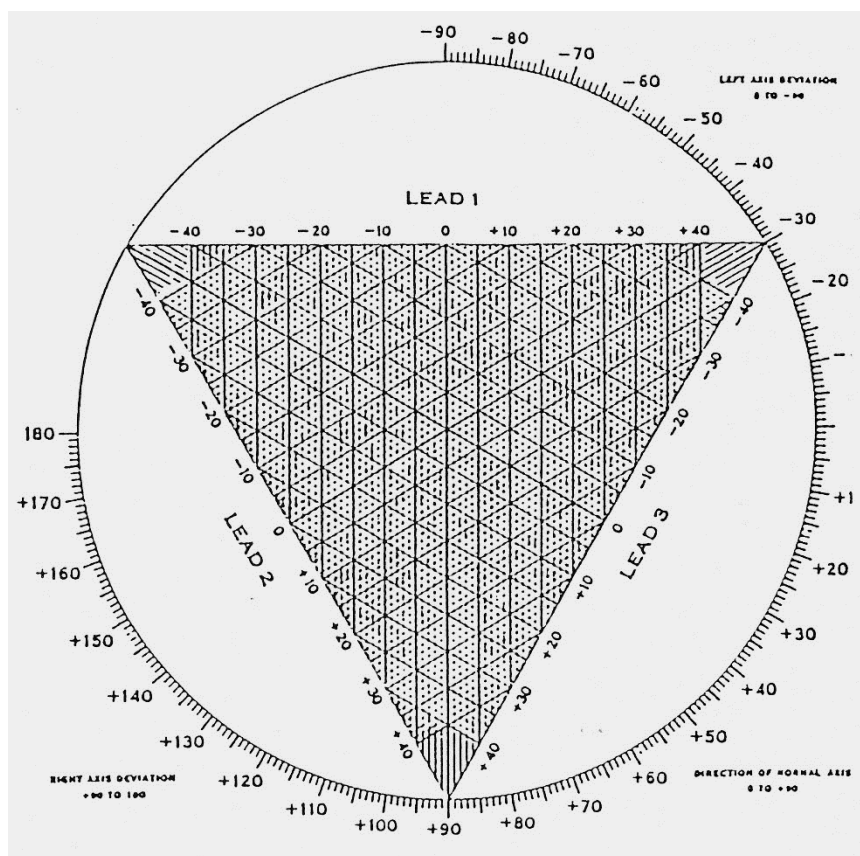
- (1) 図①のような興奮ベクトル(矢印)が心室で広がる場合、双極肢誘導で陰性波として観察されるのは()誘導である。
- (2) V4誘導の胸部電極の装着位置は、()肋間と左鎖骨中線の交点である。
- (3) ある被験者のQRS平均電気軸は-60度であった。この電気軸は、()偏位である。
- (4) 心電図記録中に被験者が左右いずれかの手を動かした際、図②のような記録(双極肢誘導)が観察された。動かしたのは()手である。
- (5) 心軸の回転を見るため、()誘導を用いてR波とS波の振幅が等しくなる()を決定した。この正常な位置は()~()の間である。
- (6) 感度10mm/mV、紙送り速度25mm/secの設定で、図③のQRS波形が見られた(最小目盛: 1mm)。このQRS波形のパターンは()であり、QRS時間は()秒である。
- (7) 心拍数は、 $60 \div ()$ の式で求められる



問2. ある被験者から下図のような心電図波形(双極肢誘導)が得られた(紙送り速度:25mm/sec. 最小目盛:1mm)。
以下の問いに答えなさい。



注:最小目盛1mmを用いて、計測・作図を行うこと



- (1) 被験者のPQ(PR)時間は()秒, QT時間は()秒である。
- (2) アイントーベンの正三角形法で求めた被験者のQRS平均電気軸は()度である(符号は必須)。

※なお、作図に用いた計算、数値、補助線は全て残しておくこと。